

広報

もり 中部の森林



私の森語り「地域も、森も、人も元気に『森林サービス産業』等の提案」 木俣 知大

写真：令和4年度新規採用者（中部森林管理局森林鉄道前）

特集

・新旧幹部の挨拶、新規採用者の紹介
各地からの便り

・金華山山火事防御訓練

シリーズ

・森林官からの便り、私の森語り、秘蔵写真・今は昔の林業、中部の保護林



2022/No.217



林野庁中部森林管理局

新幹部の紹介(4月1日)



次長(名古屋事務所長) 難波 真悟

四月一日付けで次長を拝命いたしました難波です。秋田県仙北市出身です。旧秋田局に採用され、これまで、旧青森局を含む東北局、近畿中国局、林野庁等で勤務してきました。

ここ十数年は、人事、給与などの内部管理部門の業務ばかり担当して参りましたが、久々に現場を含めた幅広い業務を経験できそうです。中部局での勤務は初めてですが、伝統ある中部局で皆様と一緒に勤務できることを心から楽しみにしています。

さて、今年度は、昨年決定された森林・林業基本計画等を踏まえ、「新しい林業」の実現に向けた取組を進めていくと同時に

に、収束の見えないコロナ禍での業務遂行やウクライナ情勢を見据えた国有林材の安定供給など厳しい諸条件の中での対応を迫られることになるものと考えています。

このような情勢を踏まえながら、国有林の円滑な管理経営の推進、森林・林業の持続的な発展、地域振興への貢献などの使命が果たせるよう、明るく風通しのよい職場づくりに努めるとともに、地域の皆様をはじめ広範な方々からニーズや課題等を伺いながら業務に取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。



- 【略歴】
- 出身地 秋田県
- 昭和56年4月 秋田局 利用課採用
- 平成27年4月 林野庁 林政課課長補佐 (人事第一班)
- 平成29年4月 近畿中国局 総務企画部長
- 平成31年4月 林野庁 林政課管理官(人事総括)



計画保全部長 山崎 敬嗣

この度、計画保全部長を拝命しました山崎です。

生まれ育ちは、管内の愛知県一宮市です。木曾川の恵みを受けてきた地域であるため、私が通った小学校から高校までのどの学校にも校歌の冒頭に「木曾」が入っていました。

中部局管内の勤務は今回が初めてとなりますが、「木曾」や度々訪れる機会があった長野・岐阜の山々の森林づくりに携わることができるとをうれしく思っています。

今、コロナ禍や紛争が起こっている中でも、脱炭素で循環型の社会に向けた動きは変わるどころがなく、世の中の森林・林業・木材産業への関心・期待は以前に比べ一段と大きくなっています。昨年6月に策定された新たな森林・林業基本計画は、この

期待を受けて策定されたものですが、同計画で示された「グリーン成長」、「森林資源の適正な管理」、「新しい林業」などの事項一つ一つについて、国有林の場で先導的に体現していくことが我々の進む道と考えています。

地域の関係者の皆様から話をよく伺いながら、職員の方々と一緒になって求められる諸課題に取り組んで参りたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。



- 【略歴】
- 出身地 愛知県
- 平成4年4月 林野庁 計画課採用
- 平成28年4月 北海道局 上川南部森林管理署長
- 平成30年4月 JICA地球環境部技術審議役
- 令和2年4月 林野庁 計画課 海外林業協力室長

お別れにあたって

退職のご挨拶

前次長（名古屋事務所長）

花村 健治



このたび、三月末をもって退職いたしました。令和二年四月から中部森林管理局に勤務させていただいた二年間、皆様方にはたいへんお世話になりました。

公務員生活を終えるにあたり、新規採用としてのスタート地点であり、また、管内各署で貴重な現場経験を積ませていただいた中部森林管理局で、再度勤務させていただき、豊かで多様な自然環境の中で、職場、地域、関係機関の皆様の温かいご厚情をいただき過ごすことができましたことに心から感謝を申

し上げます。

この二年間を振り返ってみますと、コロナ禍の中ではありましたが、新たな森林・林業基本計画や森林経営管理制度等における国有林野事業としての様々な課題、業務に取り組みさせていただき、充実した二年間を過ごさせていただきましたことができました。

最後になりますが、皆様方のご健勝と、国有林野事業、地域の森林・林業・木材産業等が益々発展されますことを心からご祈念申し上げます、お別れのご挨拶とさせていただきます。



中部局庁舎とソメイヨシノ

お別れにあたって

転勤のご挨拶

前計画保全部長

畑 茂樹



この度の異動で、国立研究開発法人森林総合研究所（林木育種センター勤務）へ出向することとなりました。令和二年四月に赴任してからの二年間、事業体等の皆様、地域の皆様、そして職員の方々に大変お世話になりました。紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

振り返りますと、二年前、首都圏で新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言がまさに出されたようとして、東京から赴任し、現在は第六波の真つただ中、新規感染者数が依然数万人に上る状況下での離任と、新型コロナウイルスに翻弄された二年間で

した。

直接お会いしての意見交換や交流が制約される中ではありましたが、感染の波の合間を縫って、管内国有林の多様な森林・自然を確認したり、地域の方々と意見交換したりすることもできました。また、毎年のように「これまでにない」豪雨がある中、地域の皆様に安心していただけるよう速やかなへり調査や計画的な災害復旧に取り組みとともに、コロナ後の観光需要も見据えて、様々な工夫を凝らしながら国有林の魅力の発信にも、職員とともに、取り組むことができました。

まだまだ取り組みたいこともあり、心残りではありますが、一日もはやく、日常が戻り、内外問わず多くの方々に中部局管内の国有林を訪れていただけるようになることを願うとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。お別れのご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

新規採用者の紹介

- ① 出身地
- ② 趣味・特技
- ③ 社会人になつての抱負



① 長野県北安曇郡松川村
 ② 写真撮影
 ③ 一日でも早く社会人として自立し、職場に貢献できるように努力していきます。

北原 啓甫
きたはら けいすけ
 (北信署)

① 千葉県千葉市
 ② 登山、ジャグリング
 ③ 向上心を持って着実に業務をこなす、職場や関係者の方々と円滑に業務を行えるよう励んで参ろうと思います。

前田 達樹
まえだ たつき
 (富山署)

① 長野県上高井郡小布施町
 ② バスケケットボール
 ③ 自分に出来ることを一つずつこなし、日々向上心をもって業務に取り組みたいと思います。

田中 晶也
たなか まさや
 (中信署)

① 長野県木曾郡上松町
 ② 散歩・ゲーム
 ③ 日々業務や地域のことについて経験、学習を重ね、地域に貢献できるように努めていきたいと思ひます。

大野 友揮
おのの ゆうき
 (東信署)

① 愛知県稲沢市
 ② 楽器(ユーフォニアム)の演奏
 ③ 地元と全く違う環境の中で日々新しい経験・知識を得られることに感謝しながら、業務をこなしていきます。

八木 雅子
やぎ まさこ
 (南信署)

① 長野県小県郡長和町
 ② 温泉に行くこと・ランニング
 ③ 日々多くのことを吸収し、出来るだけ早く職場の皆さんのお役に立てるように頑張りたいと思います。

糸瀬 賢太郎
いとせ けんたろう
 (南信署)

① 長野県飯田市
 ② 野球、ランニング、ゴルフ
 ③ 何事にも向上心を持って取り組み、早く職場や地域の方々にご貢献できるように頑張ります。

平田 将也
ひらた まさや
 (木曾署)

① 富山県砺波市
 ② クラリネットの演奏、植物のスケッチ
 ③ 自信を持って謙虚に取り組みたいと思います。幅広い分野で経験を積み、少しでも貢献できるように頑張ります。

内田 ゆき奈
うちだ ゆきな
 (木曾署)

① 北海道夕張郡長沼町
 ② スノーボード・いつでも寝ることが出来ること
 ③ 社会人としての自覚をしっかりと持ち、職場や地域に貢献していきたいです。

小池 亮輝
こいけ りょうき
 (木曾署)

① 長野県長野市
 ② 散歩、音楽鑑賞
 ③ 1日でも早く業務に慣れ、一人前の戦力となれますよう精一杯取り組んで参ります。よろしくお願ひします。

齊藤 未侑
さいとう みゆう
 (南木曾支署)

① 長野県下伊那郡阿南町
 ② ドライブ、ゲーム
 ③ 初めて社会に出ることになり分からないことだらけですが、様々な経験からたくさんの知識を吸収し、地域に貢献できるよう頑張りたいです。

伊藤 鈴夏
いとう すずか
 (岐阜署)

①富山県富山市
②漫画、音楽鑑賞
③健康を第一に考えながら、仕事を全力で頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



いとう じゅん
伊藤 潤
(愛知所)



①長野県南佐久郡佐久穂町
②買い物、ポーカー、タロット
③新しい環境に慣れ、様々な業務を経験して積極的に仕事をしていきたいです。また、地域の方々に貢献できるような日々努力していきたいです。



ほしの ゆうた
星野 裕太
(東濃署)



①長野県南佐久郡南牧村
②音楽鑑賞、生き物観察
③至らぬ点も多いですが、業務を通して様々な経験を積み、広い視野を持って行動できるよう努力したいです。



いで もえ
井出 萌
(東濃署)



①神奈川県藤沢市
②アウトドア、サッカー
③社会人経験を生かすとともに、常に謙虚さを忘れず、林野行政に貢献できるよう知識と能力をつけて参ります。



おおくら たつろう
大倉 達郎
(中部局)



①東京都文京区
②旅行、空手、ドラマ鑑賞
③健康を第一として充実したライフスタイルを確立し、仕事の質を高めていく所存です。



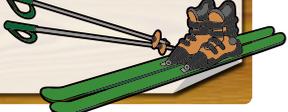
かわもと せいじ
川本 晟司
(中部局)



①北海道帯広市
②スキー
③何ごとにも挑戦し、真剣に取り組み地域に貢献できるように一生懸命頑張つていきます。



ほり たくみ
堀 匠
(伊那谷所)



ようこそ！
中部森林管理局へ

令和四年四月一日、中部森林管理局へ十九名の職員が採用され、管内各署等に配属となりました。四月十三日、本局に全員集合し、入庁式が行われましたので、その様子をご紹介します。

①千葉県松戸市
②散歩、読書、サイクリング
③職場や関係者の皆様に少しでも貢献できるように、日々感謝と向上心を忘れずに頑張ります。よろしくお願いいたします。



おおつか まゆ
大塚 麻友
(中部局)



①宮崎県宮崎市
②アウトドアスポーツ(登山等)、温泉巡り、料理
③目の前のことを一つずつ真剣に取り組みたいと思います。よろしくお願いたします。



にしだ けいすけ
西田 圭祐
(中部局)



R4.4.13 入庁式トピックス



13:15~

新規採用職員紹介
総務課長から順番に名前を呼ばれ、元気に返事をし、その場で起立。



13:20~

局長訓示
未来を想像し、実現するために創造する。
ひとつひとつ前向きに取り組むよう訓示。



13:35~

記念撮影
採用同期の初めての幹部との集合写真は中部森林管理局庁舎の前で撮影。



山岳用消火ホースからの放水訓練の様子

金華山山火事防御訓練

【岐阜森林管理署】

二月二十八日、岐阜市にある金華山国有林において、山火事防御訓練が行われました。

この防御訓練は、三月一日から始まる「春の火災予防運動」に合わせて毎年実施されています。

今年も岐阜市消防本部、各消防署、岐阜県防災航空隊、岐阜市役所、岐阜観光索道、岐阜森林管理署等から総勢二〇〇名が参加し、金華山北西部から出火したとの想定で消火活動が行われました。

訓練は、火災現場(範囲)を特定するために市消防本部による無人航空機(ドローン)を駆使し、登山者等の有無を迅速に確認しました。

そして、岐阜県防災航空隊のヘリコプターによる消火活動や、総延長一キロメートルを超える山岳用消火ホースを金華山山麓から山頂付近まで一気に延ばし消火する訓練が迅速に行われるなど、普段は別々の組織が連携しての訓練となりま

した。

訓練後、岐阜市副市長より「林野火災は、発生直後の初期行動で何ができるかにより、被害を最小限度に抑えることができる。本来であれば、あつてはならないことだが、万が一に備え、このような訓練を続けることは非常に大切である。今後も引き続き関係機関の協力をお願いしたい」と講評されました。

岐阜森林管理署部隊は例年どおりのジェットシューターを背負ったの残火処理部隊でしたが、これからの地域の安心・安全のために関係機関と協力して山火事予防に努めます。



ジェットシューターによる消火訓練の様子

シリーズ

森林官からの便り

【岐阜森林管理署七宗森林事務所】

森林官 高橋 良二

七宗森林事務所は、岐阜県加茂郡七宗町に所在しており、岐阜県中部の飛騨川流域の国有林一、六一六ヘクタール、官行造林五〇ヘクタールを管理しています。

管内の国有林は七宗町の七宗国



七宗国有林 遠望

国有林の現場の最前線で、働く森林官の仕事や、管轄する地域の特徴などを紹介します。

有林、東白川村の越原国有林の二団地で構成され、スギやヒノキを中心とした人工林が全体の九十五割を占めています。

七宗国有林では、隣接する民有林と連携して路網整備や間伐などを進めるために平成二十七年に「七宗町上麻生地区森林整備推進協定」を締結し、二、九一八ヘクタール(国：九一四ヘクタール、民：二、〇〇四ヘクタール)の共同施業団地を設定しています。

当団地の国有林内に設置した集積土場を民有林でも活用できるように、隣接する国有林へ接続する路網として令和三年度までに、林業専用道約一・二キロメートル、作業道約七キロメートルが地元の可茂森林組合により開設されました。これにより民有林側で延べ五二・五ヘクタールの間伐と木材の搬出が可能となりました。

当団地ではこのほか、効率的な二ホンジカ対策の情報共有を進めるため、国有林が実施するくくり罾や囲い罾による捕獲の分析を行

い、その結果を森林技術・支援センターが中心となり開催する二ホンジカ食害防除対策検討会で発表しています。



七宗町名所 飛水峽

越原国有林では、水を育む森づくりや新技術の研究開発の場として利用するため、平成二十二年からサントリーホールディングス株式会社との間で社会貢献の森「天然水の森ぎふ東白川」の協定を締結しています。

また、当国有林は東白川村の水道水源でもあることから、地元の意見をより反映した森林施業を進めるため、令和三年三月に東白川

村との間で越原国有林の取扱にかかる覚書を交わしました。このように、国有林に対する地域住民の関心が高い二団地について、森林官と森林技術員、行政専門員の三名で連携を深めながら事業を進めています。

■未来の担い手へのメッセージ
自然相手の仕事であり、森林の長い刻の流れの一部に触れるだけで、始まりから終わりまでを見ることはできません。しかし、ゆっくりとした時間の中で、地域毎に特色のある仕事を体験することができますので、興味を持たれたらぜひ就職してみませんか？



中央が筆者

■自己紹介
2021年3月まで15年間、(公社)国土緑化推進機構に在職して、新たに森と人の関わりを生み出すため、産官学民・異業種連携で、森林サービス産業、森と自然を活用した保育・幼児教育、森林ESD、ウッドデザイン賞等の多様なプロジェクトを創出してきました。昨年4月に、コロナ禍を踏まえて自然豊かな地方での子育てと、分野横断的な森林活用を地域に拡げべく、長野県に移住しました。



さとゆめ シニアコンサルタント/
日本ウッドデザイン協会 事務局次長/
東京学芸大Explayground推進機構
研究員 **木俣 知大**



長野県信濃町。森林セラピー先進地の長野県信濃町。36の企業・保険者との協定締結等により、平日需要である社員研修を中心とした約4,000泊、約6,500名のプログラム体験の需要を創出。

■活動内容
前職で携わっていたプロジェクトは、いずれも立場を変えつつもマルチワークで取り組んでいます。が、代表的な取組をご紹介します。
○森林サービス産業・企業や健康保険組合等と連携した予防・健康づくりとしての「森林セラピー」自律共創型の人材育成に向けた森林内での企業研修等の取組が拡がりつつあります。さらに、コロナ禍で注目の高まっているキャンプ・グランピング、マウンテンバイク・トレイルランニング等の森林スポーツも拡がりを見せています。

○森と自然を活用した保育・幼児教育(自然保育)・幼児期においては子どもの主体的な遊び・学びが求められる中で、園庭を緑化したり、裏山等を整備したりして、自然保育を推進する園が広がっています。
また、「森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク」が設立されて、120を超える自治体が参画する中で、「自然豊かな地方での子育て」を望む子育て世代の移住促進のシンボルとして「自然保育」を推進する自治体も広がっています。



新コンセプト「もりぐらし」を掲げ、森と遊ぶ・森で食す・森に泊まる等の活動を生み出すことで、利用者層の拡がり別荘取引数を倍増させた長野県茅野市「東急リゾートタウン蓼科」。

○連絡先
E-mail: tomohiro_kimata@yahoo.co.jp
<https://fb.com/tomohirokimata/>

多くの皆さまと連携して、森林サービス産業の創出や自然保育の推進など、新たに森や木を活かす取組の環を拡げていければ、と思います。

■メッセージ
近年、経済的な豊かさだけでなく多角的な豊かさ「Well-being」が求められる中で、コロナ禍もあり、農山村地域や森林空間の価値が再評価されています。そして、農山村地域・森林の価値は、産官学連携・異業種連携で多角的に引き出しており、深まってくると感じています。



裏山を活用することで、公立園で唯一「信州型自然保育認定制度(特化型)」に認定されている長野県伊那市の山間部にある「高遠第2・第3保育園」。園児30名のうち8割が移住者で園が存続。

シリーズ
「私の森語り」
もりぐらし
森林・林業との関わりの中で、様々な課題に挑戦されている方の取組を紹介します。



シリーズ

秘蔵写真

今は昔の林業

第12回

中部森林管理局技術普及課

井上 日呂登

今は昔、山村に暮らす人々とその生業としての林業を当局秘蔵の写真とともにご紹介します。

「トラック運材」

昭和十年代に入ると山での運材にトラックが登場します。木曾では昭和十一年に民間のト



昭和10年代頃のトラック運材
(現在の木曾森林管理署管内)

トラックによる運材が初めて行われ、昭和十五年には帝室林野局木曾支局がトヨタ製のトラックを導入したと伝えられています。

この時代の運材はまだ森林鉄道が主役でしたが、自動車による運材の効率の良さは既に登場した当初から注目されていました。ただし、悪路での走行には苦勞したようです。

戦後も官営のトラック、いわゆる「官トラ」が活躍しますが、自動車の普及が一般にも進み、昭和三十年代には民間のトラックの活用に切り替えが進みます。木曾では昭和三十七年に完全に民間による請負作業となりました。



昭和17年頃のトラック運材
(現在の南信森林管理署管内)



昭和50年の「さようなら森林鉄道」式典に登場した運材トラック
(現在の木曾森林管理署管内)

自動車と道路網が発達した時期は森林鉄道が縮小し廃止されていったのとはほぼ同時期であり、国有林における作業の風景も変わっていききました。

ここで紹介している写真は、当局サイト「モノクロ森林紀行」で紹介しております。これは、カラー写真のない時代へ時を超えて！むかしの写真を紹介するサイトです。

当サイトへは、QRコードを読み込んでください。



世界に名だたる山岳景勝地

北アルプス(蝶ヶ岳・大天井岳・槍ヶ岳・穂高岳) 生物群集保護林

設定目的

上高地^{かみこうち}上流部は、前穂高岳^{まえほだかだけ}、奥穂高岳^{おくほだかだけ}、北穂高岳^{きたほだかだけ}、槍ヶ岳^{やりがたけ}等、我が国有数の峰々が連なり、中部山岳国立公園の核となっているばかりでなく、世界的にも知名度の高い、日本を代表する山岳景勝地です。
この地域の植物群落の保護・管理を図るために、設定しています。

地況・林況

槍ヶ岳から西穂高岳^{にしほだかだけ}までの稜線から梓川までの範囲と、大天井岳から蝶ヶ岳に至る範囲とに位置します。
我が国有数のカールである濁沢カールをはじめとする氷河地形、特徴的な稜線、大小様々な滝など、豊かな自然景観を誇っています。
保護林の下部は、シラビソ、オオシラビソ、コメツガ、トウヒ等から構成される亜高山帯、保護林の上部は、ハイマツ等から構成される高山帯、さらに山頂部は、コマクサ、タカネスミレ等から構成される高山植物群落があります。

所在地
長野県松本市、安曇野市



※自然保護のため、詳細な位置情報は掲載しておりません。

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年(大正4年)以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612



※詳細は、QRコードを読み込んでください。

お立ち寄りください 庁舎中央階段のパネルを張り替えました。

三月十四日、中部森林管理局庁舎中央階段(正面玄関から庁舎に入って正面の階段)に設置してある、パネルが老朽化したことに伴い、写真の張替えを行いました。

張替えにあたっては、今まで当局等が開催したフォトコンテストの入賞作品の中から張替えするパネルのサイズ等を考慮して選定させていただきました。

張替えの終わった約二メートル四方の大型パネルは、迫力ある自然の情景が壁一面に広がり、通行する職員が思わず立ち止まって見とれてしまうほどです。

ぜひ、当局へお立ち寄りの際は、中央階段のパネルをご覧になってください。

最後にご協力いただいた、撮影者の皆様に感謝申し上げます。
(総務課広報)



中央階段2～3階踊り場のパネル



「森の散歩道」野田 光雄
撮影場所：長野県上松町
(赤沢自然休養林)
中部森林管理局第1回「木曾悠久の森」写真コンテスト(平成27年度)「最優秀賞」受賞作品



「ブルースカイ」佐野 武将
撮影場所：長野県茅野市八ヶ岳
林野庁「わたしの美しい森フォトコンテスト」(平成29年度)「中部森林管理局長賞」受賞作品



「緑陰を走る」植原 洋子
撮影場所：長野県上松町
(赤沢自然休養林)
中部森林管理局 第2回「木曾悠久の森」写真コンテスト(平成29年度)「入選」作品



「輝く」宮坂 誠
撮影場所：長野県松本市
(野麦峠)
中部森林管理局「カラマツ黄葉写真コンテスト」(平成24年度)「優秀賞」受賞作品

編集長だより

(中部の森林へのご意見・ご要望等の投稿は、migoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。)

「桜の花びらが舞ってきれいですね」。表紙の写真を撮影しながら、笑顔とともに聞こえてきた言葉。中部森林管理局庁舎の桜の木は、入式に合わせてように一気に満開となり、新規採用者19名の門出をお祝いしてくれました。

新年度が始まり、管内各署等で新たな仲間との出会いや人事異動による再会などがありました。今はマスクを着用しているため、お互い素顔を見ることが難しいですが、マスク越しでも笑顔や気持ちを伝えていきたいですね。

さて、今月号もお読みいただき、ありがとうございます。

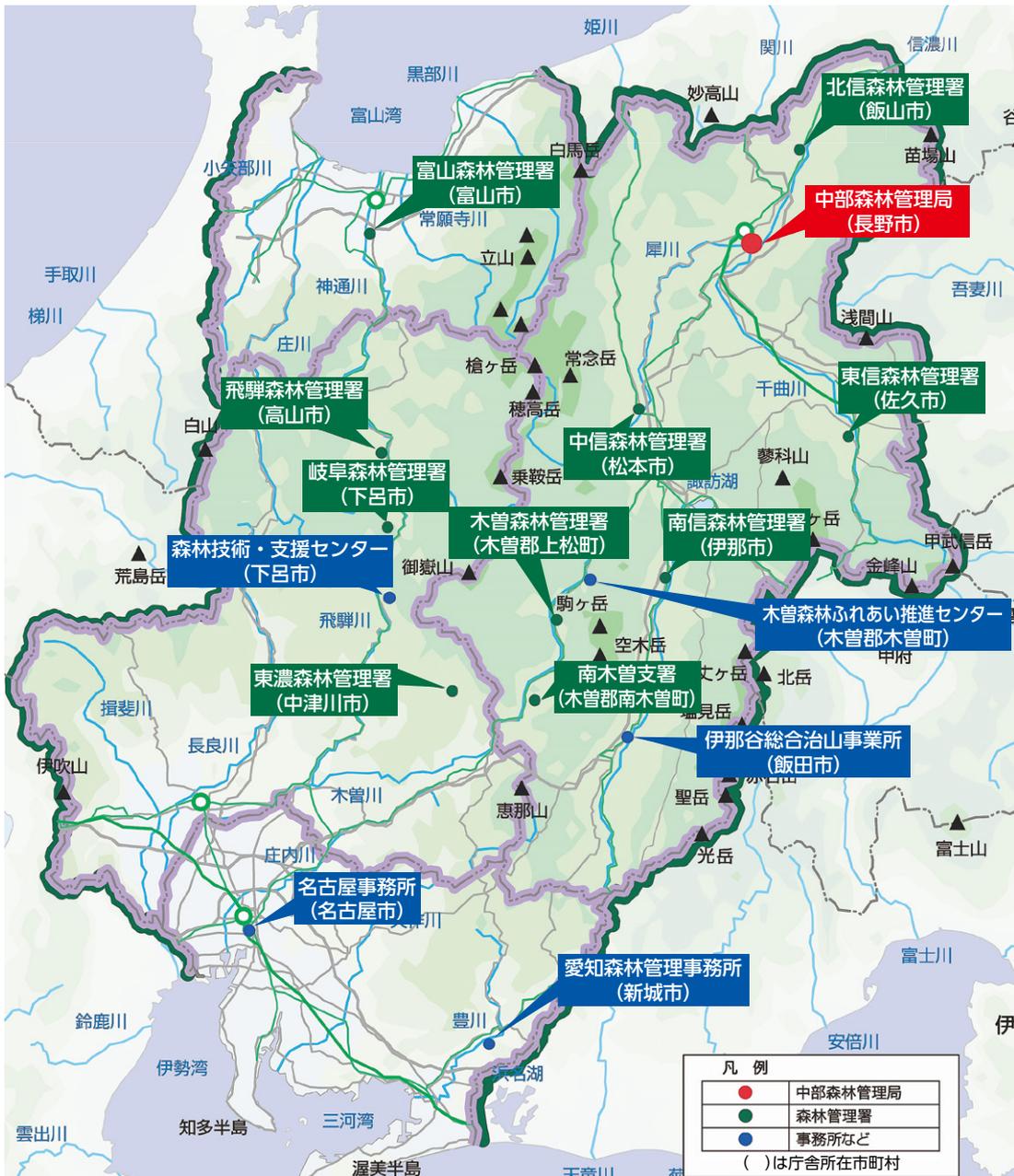
これから春山シーズンです。各地の国有林でも生命の息吹を感じられる美しい風景が見られると思います。国有林の風景写真は、「デジ森(もり)」でも紹介しておりますので、こちらもお楽しみください。



デジ森への入場ゲートは、左のQRコードを読み込んでください。



9. 「称名滝」(富山署管内)



中部森林管理局のホームページ等へのアクセスは、以下のQRコードを読み込んでください。



中部森林管理局ホームページ



広報「中部の森林」



用語の解説
本誌文中に掲載している主な専門用語・業界用語を解説。

凡例

●	中部森林管理局
●	森林管理署
●	事務所など
()	庁舎所在市町村

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中区熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曽森林管理署	〒399-5604	長野県木曽郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
南木曽支署	〒399-5301	長野県木曽郡南木曽町読書3650-2	TEL 050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曽森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曽郡木曽町福島1250-7	TEL 0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3160-6075	FAX 0265-22-0149

発行：林野庁 中部森林管理局
 編集：総務課 広報
 〒380-8575 長野県長野市栗田 715-5
 電話：026-236-2531
 FAX：026-236-2733
<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

メールマガジンに登録いただくと、広報「中部の森林」を発行日と同時にデジタル版を毎月配信します。
 (毎月10日発行※編集の都合で、発行日が遅れることもあります)
 登録サイト <https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>
 または、右のQRコードを読み込んでください。



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。